

# 第 121 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和3年9月9日(木)14:00~15:00

場 所：県庁6階 第1・2特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

◇ 緊急事態措置の延長に伴い、県の対処方針を変更することを決定した。

## 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、金城 県警警備第二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、佐次田 教育管理統括監、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、系数 保健衛生統括監、高山 医師、 テレビ会議システム利用：木村宮古、比嘉八重山保健所長

## 2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料1】

✓ 9/8 の新規発生は 413 名、合計 46,170 名、入院中 665 名、うち重症 31 名、うち中等症 542 名、入院調整 1,935 名、宿泊施設療養中 341 名、自宅療養 2,335 名で療養中患者計 5,609 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料2】

9/8 時点、米軍基地内で 22 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
  - ✓ 療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、新規 PCR 検査の陽性率は、第 4 段階にある。
  - ✓ 感染経路不明な症例の割合は第 3 段階にある。
  - ✓ 国の判断指標でも、療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、PCR 陽性率、入院率の項目がステージⅣ相当となっている。
  - ✓ この 2 週間、新規感染者数は前週同曜日を下回り、減少傾向は続いているが、重症者・中等症者は高止まりの状況にあり、医療のひっ迫は続いている。
  - ✓ 非コロナ病床の利用率は 93.2%となっている。
  - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、207.53 で、全国ワースト 1 位の状況。
  - ✓ 各保健所管内別の人口 10 万人あたりの新規陽性者数で見ると、北部を除く各保健所管内で、先週より減少している。
  - ✓ 沖縄県疫学統計・解析委員会の報告によると、8/30 の週の実効再生産数は 0.69 となっており、着実に減少に向かっていることが示されている。
  - ✓ また、年代別では、未成年の占める割合が増加しており、8/30 の週では 30% を超えているとの報告があった。
  - ✓ 入院者数については、減少に転じているものの、いまだ高いレベルにあり、外来受診等が制限されるなど、医療機能は正常化していないとの報告があった。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 総括情報部から、宿泊施設の運用状況について報告。
  - ✓ 那覇市は 2 カ所が稼働しており、合計 195 人が療養中である。

- ✓ 中部では1カ所が稼働しており、88人が療養中である。
- ✓ 他の地域については、北部で26人、宮古で21人、八重山で25人が療養中となっている。

#### (5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
  - ✓ 空港エリアでは人流が減少しているが、繁華街エリア及び商業エリアでは増加している。

#### (6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、クラスターの発生状況について報告。
  - ✓ 台風のため、沖縄本島の漁港に寄港した漁船乗組員間の接触により、クラスターが発生した事例があった。今後の台風において、同様の事例が起きないように注意が必要である。

#### (7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
  - ✓ 感染者数については、2週連続でほぼ半減しており落ち着いてきている。
  - ✓ 年代別の割合で見ると、20～30代が多いが、子どもの割合も高くなっている。ただし、学校内での感染ではなく家庭内感染が多い。
  - ✓ 多良間村での発生事例については、当初、感染が確認された3名以外に接触者1名の感染が確認されている。この4名は軽症であり、宮古病院で治療を行っている。
  - ✓ また、多良間村内の接触者の検査等については、宮古保健所、多良間診療所が連携して実施しており、全員の陰性が確認されている。

- ✓ 今後の感染者発生時に備えて、多良間村と患者の移送等について確認を行った。
  - ✓ その他に島内タクシー会社による患者移送も始まっており、自宅療養者に対する食料の配布等についても協力を得ているところである。
  - ✓ 宮古地方本部では、情報共有、医療連携等の課題を解決するため、宮古島市、多良間村、宮古病院、宮古地区医師会、宮古島徳州会病院、県による作業チームを設置した。作業チームでは IT を活用した情報共有の仕組みの構築等に取り組んでいるところである。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
- ✓ 八重山地区においても先週と比較して感染者が半減している。
  - ✓ 年代別で見ると 10 代の発生が多くなっているが、学校でのクラスターではない。
  - ✓ 管内の高齢者施設等でクラスターが 3 件発生しているが、DMAT、八重山病院の支援により対応しているところである。
  - ✓ また、障害者施設の職員の感染が確認されたため、八重山病院及び八重山保健所が連携して、施設のゾーニング等について確認を行っている。
  - ✓ 八重山地区においても、患者搬送等についてタクシー会社への委託が始まっている。

#### (8) PCR 検査事業の状況について【資料 7】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
- ✓ エッセンシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、8/30~9/3 は、介護関係者 10,241 人が受検した結果、9 人が陽性であった（陽性率 0.09%）。また、障害者施設関係者 3,989 人が受検した結果、3 人が陽性であった（陽性率 0.08%）。保育施設関係者については、3,730 人が受検した結果、陽性者は確

認められなかった。

- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、8/27～9/2 は 11,163 人が受検した結果、陽性者 420 人、陽性率 3.76%であった。
- ✓ 飲食店検査の実績について、8/28～9/3 は 410 人が受検した結果、陽性者 22 人、陽性率 5.37%であった。
- ✓ モニタリング検査の実績について、8/23～8/29 は、3,694 人が受検した結果、陽性者は 2 人であった(0.05%)。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績については 1,032 人(44 校)が受検した結果、陽性者 9 人、陽性率 0.87%であった。

#### (9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 8～8-2】

- 総括情報部から、住民向け進捗状況等について報告。
  - ✓ 1 回目のワクチン接種が完了した人は 809,551 人となっており、接種率(県全体)は 54.5%となっている。
  - ✓ 2 回目のワクチン接種が完了した人は、637,584 人となっており、接種率(県全体)は、42.9%となっている。

#### (10) 空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 9】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
  - ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、8/30 の週を受検者は 2,222 名で、その内 15 名が陽性であった。
  - ✓ 那覇空港抗原検査について、8/30 の週を受検者は 665 名で、その内 1 名が陽性であった。
  - ✓ TACO について、8/30 の週のサーモグラフィー通過者は 76,093 人で、その内

発熱者は0人であった。

✓ RICCAについて、9/3時点の登録者数は113,422人となっている。

(11) 緊急事態宣言下の取組状況について【資料10-1~10-5】

➤ 総括情報部から、全国からの看護師の派遣状況について報告。

✓ 現在のところ、全国知事会から4名、厚生労働省等から49名、合計53名の看護師について応援を受けている。

➤ 時間の都合上、緊急事態措置早期解除に向けた県の取組計画については、各自での資料の確認を依頼し、説明を割愛。

➤ 総括情報部から、飲食店における感染者数及び移入例の件数について報告。

✓ 飲食店が推定感染源となっている感染者数は、8/8の週以降、3週連続で減少して105名となっている。

✓ 移入例についても、先週に引き続き減少している。その内訳は、県外からの来訪者が6人、県民の往来によるものが5人、県外の人との接触によるものが6人、合計17人となっている。

➤ 総括情報部から、飲食店巡回活動の状況について報告。

✓ 9/9時点で、510店舗に対し事前通知書を交付（※1回目の巡回時に営業が確認された際に交付）。

✓ また、210店舗に対し弁明通知書を交付（※2回目の巡回時に営業が確認された際に交付）。

✓ このうち、弁明通知書交付後も営業が確認された200店舗に対し、休業等を命じる文書を交付し、県HPで店名を公表。

- ✓ 命令後も営業が確認された店舗に対し、過料の手続を実施し、54 店舗について裁判所へ通知しており、残りの 146 店舗についても手続を進めている。

## (12) 各部局の取組状況等について【資料 11】

### ➤ 企画部から、市町村におけるコロナ対策取組事例について報告。

- ✓ 現在、県内の感染状況は高い水準で推移しており、多数の自宅療養者に対する支援、子どもを中心とした若者世代での感染拡大に対する対策、家庭内感染対策が必要な状況である。
- ✓ 上記の課題について、各市町村でも様々な取組を実施していることから、それらを抽出し、市町村間での情報の共有を図ったところである。
- ✓ 自宅療養者の支援として、食料品・日用品の配布（糸満市、沖縄市、恩納村、金武町、読谷村）、パルスオキシメーターの貸与（宮古島市、金武町）、買い物支援（本部町、宜野座村、金武町）、離乳食配布（宮古島市）が実施されている。
- ✓ 家庭内感染防止対策の支援として、濃厚接触者等に対する宿泊助成・宿泊施設の提供が沖縄市、宜野座村、伊江村、伊是名村で実施されている。
- ✓ 子どもの感染拡大防止の支援として、受験生・児童生徒へのワクチン優先接種（那覇市、名護市、豊見城市、本部町、南風原町）、妊婦へのワクチン優先接種（那覇市、宜野湾市、豊見城市、南風原町、八重瀬町）、教師・保育士へのワクチン優先接種（宜野湾市、沖縄市、恩納村、南風原町、八重瀬町）、学童職員に対する定期 PCR 検査（金武町）、児童生徒への定期的 PCR 検査（座間味村）が実施されている。
- ✓ その他の取組として、電話相談窓口の設置（宮古島市、石垣市）、PCR 検査センター設置（うるま市）、飲食業 PCR 検査（沖縄市、宮古島市）が実施されている。

- ✓ 今後も各市町村の取組については、定期的に情報の共有を行っていく予定である。

➤ 総括情報部から、感染事例集の作成について報告。

- ✓ 職場・学校・家庭での感染防止対策に活用してもらうことを目的に、新型コロナウイルス感染事例集を作成した。
- ✓ この事例集では、沖縄県内で発生した実際の事例を基に、感染リスクが大きい場所・状況を説明するとともに、対策のポイントを解説している。
- ✓ 当該事例集については、SNS や県 HP を用いて県民・業界団体等へ発信するほか、県庁内での感染リスクの共有にも活用する。

➤ 時間の都合上、新型コロナウイルス感染症に係る影響及び対応状況については説明を割愛。

(13) その他報告事項について

➤ 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。

- ✓ 9/9 時点の県立病院の入院患者数は 165 人となっている。
- ✓ 北部病院では入院者は減少傾向にあるが、40 代・50 代の重症化が目立っている。
- ✓ 中部病院では、ECMO を必要とする患者が増えており、中部病院だけの対応が困難なことから転院の調整を行っている。
- ✓ 多良間村での感染者発生に伴い、同村で 109 人に対し PCR 検査を実施したところ、全員の陰性が確認された。
- ✓ 宮古病院では一般外来、手術、検査の制限を解除するが、看護師が不足しており補充が必要である。



(報告(1)～(13)に関する発言等について)

- ✓ 感染事例集について、幅広い周知のためにもマスコミへの配布を検討してはどうかとの意見があった。
- 総括情報部から、マスコミへの配布についても検討中であることを説明。

### 3 議題

#### (1) 沖縄県対処方針の変更について

- 総括情報部から、沖縄県対処方針の変更について説明。
  - ◆ 沖縄県対処方針変更の理由
    - ✓ 緊急事態宣言の延長が決定される見込みであることから、沖縄県対処方針の変更についても検討が必要である。
  - ◆ 県民等に対する要請内容等の追加・変更について
    - ✓ 緊急事態措置期間の再延長に伴い、期間を9/30まで延長する。
    - ✓ 未成年の陽性者が増えていること、小児の重症化事例も確認されていること、夏休みの終了に伴う子ども達への感染拡大が心配されることを示し、注意を促す。
    - ✓ 感染者数はピークアウトしたように見えるが重症者は減少しておらず、医療機関は依然として一般診療等の制限を行うなど、限界ぎりぎりの状況であることを示し、感染防止対策の強化・継続を求める。
    - ✓ 昨年はシルバーウィーク後に感染者数が増加に転じたことを示し、注意を促す。
    - ✓ 実際の感染事例を示し、都道府県間・離島の往来、ビーチパーティ等のイベントの自粛について協力を求める。
    - ✓ 事業者・経済界に対し、従業員へのワクチン接種、会食の自粛を求めるよう要請する。

- ✓ 学校等に対して、分散登校の実施、感染状況に応じた学級閉鎖、学年閉鎖等の実施、健康に不安があり出席できない生徒に配慮した学習支援、部活動の制限の徹底等に加え、希望する教職員・児童生徒に対するワクチン優先接種の協力を要請する。
  - ✓ 緊急事態措置の延長に伴い、大規模商業施設等に対し、9月末までの土日祝の休業を要請する。
  - ✓ 大規模商業施設等に対し、従業員に対する検査の勧奨、感染防止対策を実施しない者・発熱症状がある者の入場禁止等の対策を要請する。
  - ✓ その他の施設についても、適切な感染防止対策の実施を要請する。
- ◆ 県が取り組む対策の変更・追加等について
- ✓ 医療提供体制の拡充策として、重点医療機関等における入院病床の増床、那覇地区における軽症者向け宿泊療養施設の追加開設、パルスオキシメーター・酸素濃縮器等の機器の確保等を記載。
  - ✓ 重点検査拡充の取組として、中部地区における希望者 PCR 検査の窓口の設置を追加。
  - ✓ 新型コロナワクチン接種促進の取組として、広域ワクチン接種センターの接種能力の拡充、若者世代に対する優先接種の開始、アストラゼネカ社製ワクチンの接種開始、接種年齢（12歳以上）の引き下げを実施。
  - ✓ 子ども達を守るための重点プロジェクトとして、①児童生徒等の日常的な健康管理の徹底、②感染者発生時の迅速な対応、③保護者や教職員の健康管理の強化、④子どもの療養体制等の拡充を実施する。
  - ✓ 感染収束時の経済活動の再開を見据え、ワクチン接種・検査陰性証明書の活用について検討を開始。
  - ✓ 飲食店等に対する感染防止対策認証制度について、緊急事態措置の段階的解除における酒類提供に向けた取組を推進する。

(議題(1)に関する発言等)

- ✓ 若者世代のワクチン優先接種について、現在、稼働率に余裕がある那覇クルーズターミナルセンター会場を活用して、終日予約なしで接種を行ってはどうかとの意見があった。  
→総括情報部から、予約なしでの接種対応についても検討を行っているが、オペレーションの問題もあることから、現時点では、14時までの受付対応としていることを説明。
- ✓ 広域ワクチン接種センターの稼働率を高めるために、各部局は所管する関係団体等に対し、広域ワクチン接種センターの活用について働きかけを行って欲しいとの意見があった。
- ✓ 教育庁から、部活動における練習試合の再開を検討しているとの報告があった。  
→総括情報部から、10代以下の子ども達の感染者数が多いことや、練習試合で感染が広がった事例も確認されていることから、望ましくないと意見があった。
- ✓ 土木建築部から、県内プロスポーツチームや学校から休業中の県営施設の利用について、要望があったことから、全国的な試合に向けた練習に限り利用を認めることを検討しているとの報告があった。  
→総括情報部から、無観客での練習、抗原検査を活用した健康管理等の対策を講じた上での練習とすることを要請。  
→文化観光スポーツ部から、施設管理者である土木建築部と連携し、無観客・抗原検査等の対策を徹底に努めることを説明。  
→本部長から、県営施設で練習を実施するチーム・団体等の情報について、部局間で情報を共有するよう指示があった。
- ✓ 企画部から、タクシー協会からワクチン接種にかかる広報等の協力について申し出があったこと、タクシーを活用した広報の仕方については、総括情報部と連携し

て検討することについて報告があった。

- ✓ ワクチン関連のフェイクニュース等のために、接種に抵抗感を持つ方向けのリーフレット等を作成し、12歳以上の学生や保護者を初め、各部局が所管する団体等に配布してはどうかとの意見があった。

→総括情報部から、ワクチンにかかるリーフレットを作成中であり、9月中旬ごろ完成予定であることを説明。

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響により学生寮が閉鎖されたため、学校がある島内に身元引受人がいない離島の学生が登校できない事態になっていることから、感染防止対策を徹底した上で、寮に戻ることにについて検討してほしいとの意見があった。

→総括情報部から、感染防止対策の徹底、感染者が発生した際の搬送等について、教育庁が学生寮の再開について対応するにあたり、連携して対応すると回答。

- ✓ 学生寮で感染者が発生した場合、患者である学生は宿泊療養施設に入所できるが、濃厚接触者については行き先が無いことから対応が必要との意見があった。

→教育庁から、濃厚接触者となった学生について、隔離のための宿泊費補助の実施を予定していることを説明。

- 最後に、沖縄県対処方針の変更について、本会議で出された意見を反映させた内容で変更することを決定した。

#### 4 その他

特になし。

#### 5 閉会